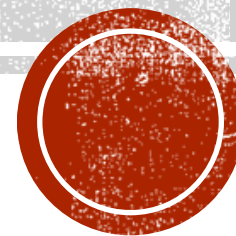


～ 令和8年度 ～

住宅の防火・防災対策



京都市消防局 予防部 予防課



火災 とは …?

人の意に反して発生し若しくは拡大し、又は放火により発生して消火の必要がある燃焼現象であって、これを消火するために消火施設又はこれと同程度の効果のあるものの利用を必要とするもの、又は人の意図に反して発生し若しくは拡大した爆発現象

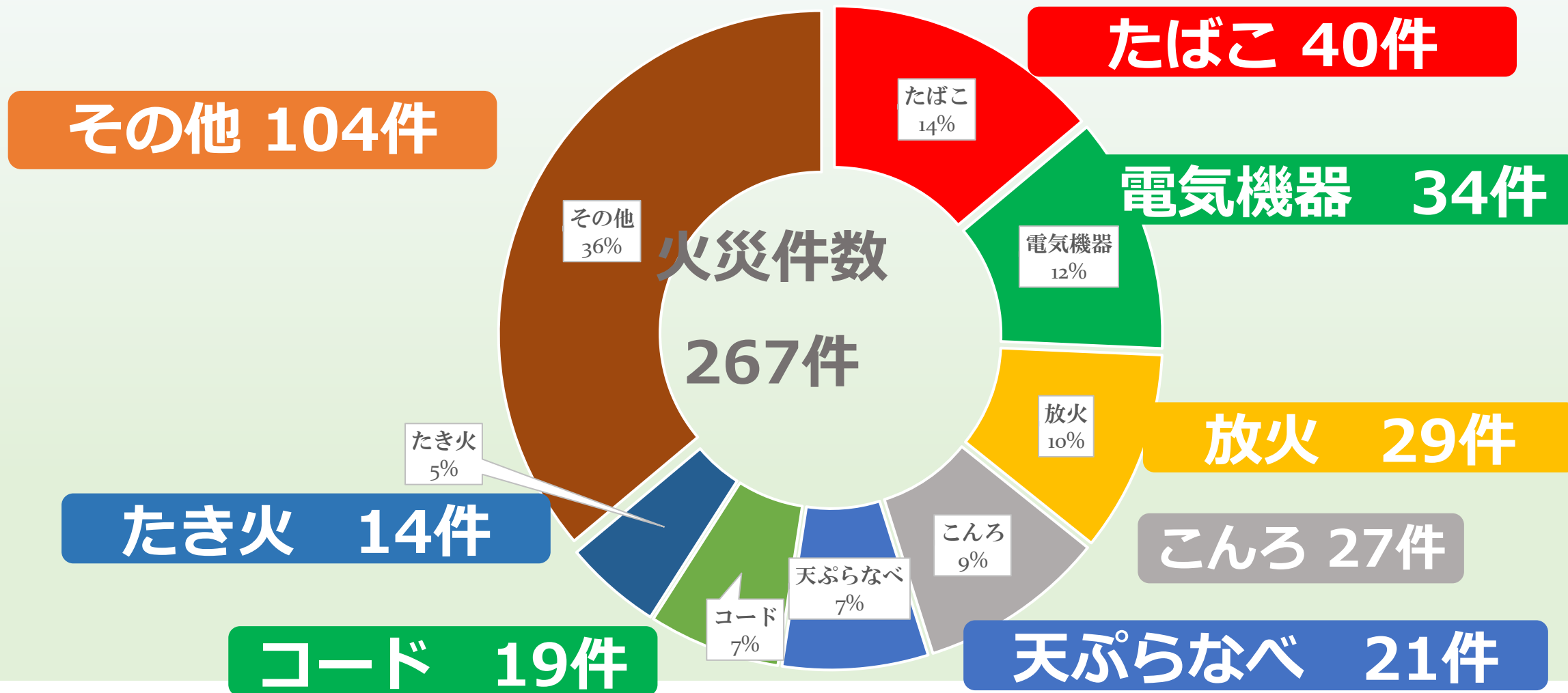


火災件数の推移





原因別火災発生件数（令和7年）



電気機器火災（特にリチウムイオン電池火災）

= 近年急増の傾向

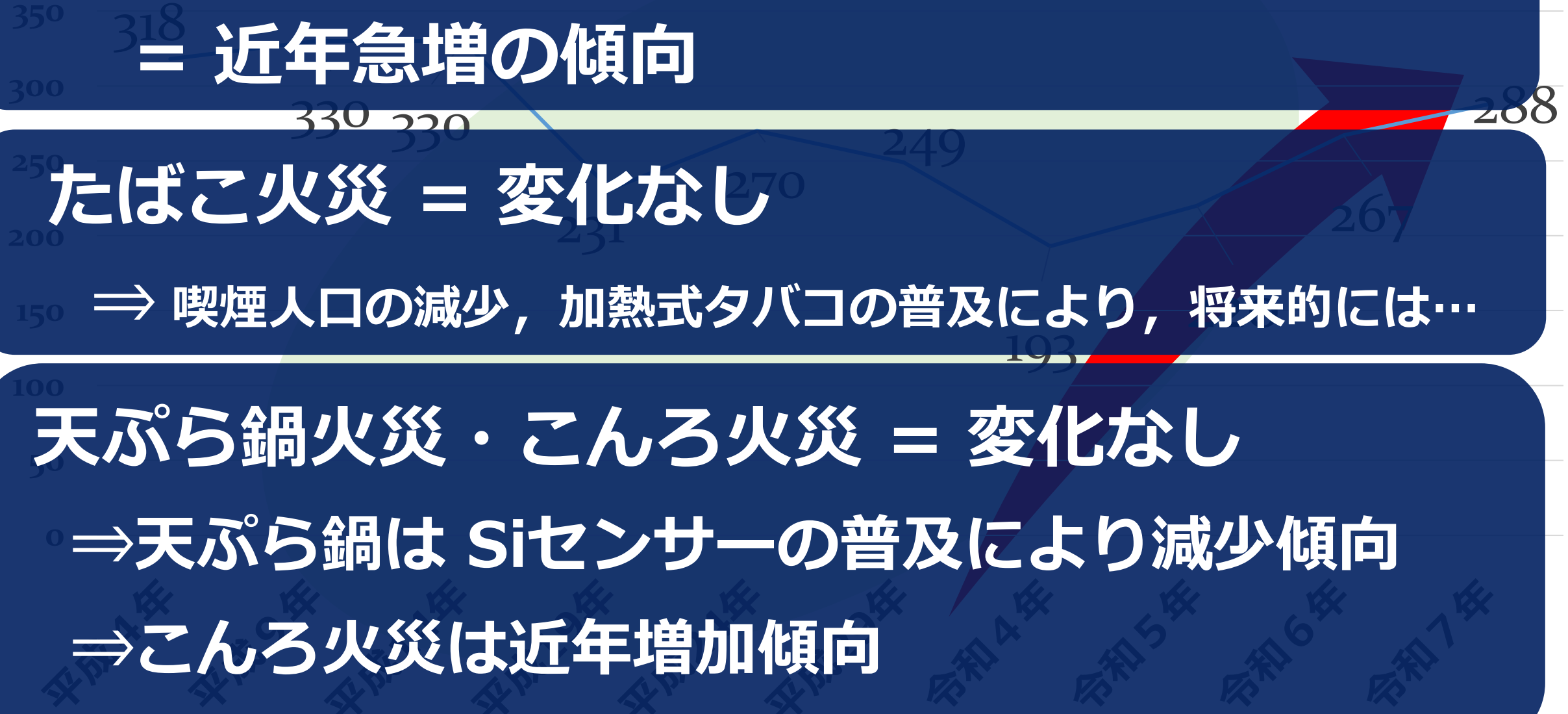
たばこ火災 = 変化なし

⇒ 喫煙人口の減少，加熱式タバコの普及により，将来的には…

天ぷら鍋火災・こんろ火災 = 変化なし

⇒ 天ぷら鍋は Si センサーの普及により減少傾向

⇒ こんろ火災は近年増加傾向



火災原因第一位 **たばこ 火災**

たばこ火災の原因 は …

「火源落下」と「捨場不適」

令和7年のたばこ火災（40件）は

捨場不適 **27件** 火源落下 **13件**

■ たばこ 火災

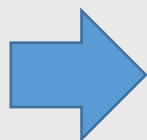
火源落下 とは …

布団，座布団などにたばこの火種が落下すること（**寝たばこ**）

燃焼の経過 は …



たばこが接触



煙が発生
(無炎燃焼)



炎を上げて燃焼

無炎燃焼で
大量の煙が発生

■ たばこ 火災

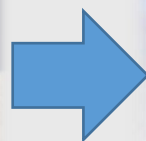
捨場不適 とは …

吸殻を投げ捨てたり，ゴミ箱，袋などに捨てること

燃焼の経過 は …



ゴミ箱に廃棄



煙が発生



炎を上げて燃焼

早ければ，
出火まで**10分**



火災原因第2位

電気機器 火災

電気機器火災の原因 は… 特にリチウムイオン電池

リチウムイオン電池を使う

充電式電池や充電式の電化製品

充電式電池が
使われている
主な電化製品



タブレット



携帯電話



加熱式
たばこ



モバイル
バッテリー



ワイヤレス
イヤホン



電気
カミソリ



充電式
掃除機



デジタル
カメラ



携帯・家庭用
ゲーム機



ハンディ
扇風機

充電式の電化製品は、ごみ処理の過程で
中に入っている充電式電池が発火してしま
う危険があります。



パッカー車や
ごみ処理施設で発火!!

普通ごみに出してはいけません!!

「買うとき」・「使うとき」・「捨てるとき」・
「火災が発生したとき」に加えて、
「保管・充電するとき」のポイントもチェック！

「リチウムカンカン大作戦」は、
金属製の菓子缶などの不燃容器「缶」の活用と
周囲に燃えやすいものを置かない「環」境の整備による
保管・充電を呼びかけ、リチウムイオン電池火災による
被害軽減を目指す取組です。



詳細は裏面「火災を防ぐポイント！」の
「保管・充電するとき」を参照

火災を防ぐポイント！

買うとき

- ①連絡先が確かなメーカーや販売店から購入する。
- ②充電器や交換用のバッテリーは、製品の付属品やメーカー推奨の物を使用する。
- ③モバイルバッテリーを購入するときは、PSEマークを確認しましょう。



使うとき

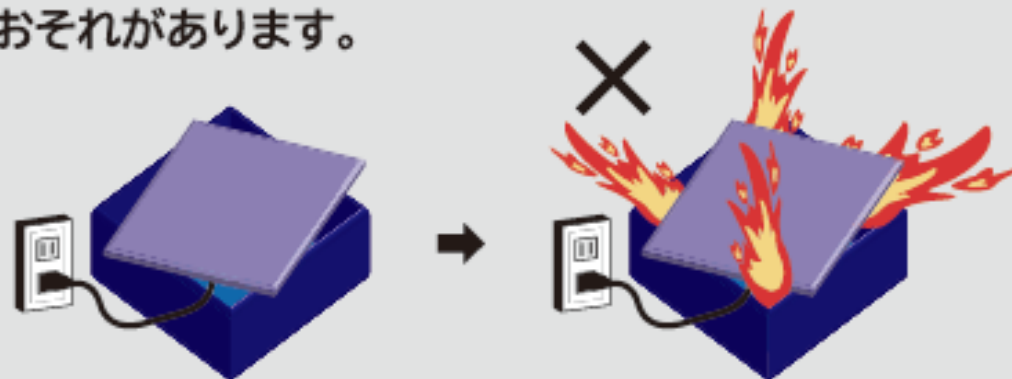
- ①落としたり、投げつけたりして強い衝撃を与えない。
- ②膨張、異音、異臭などがあるものを使わない。



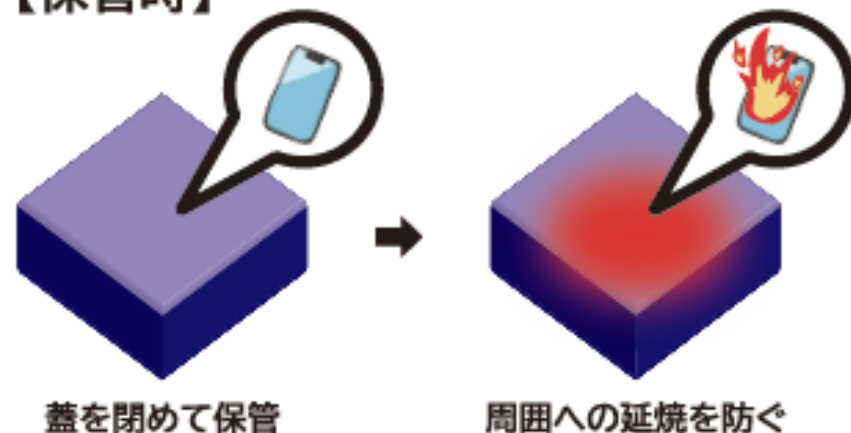
リチウム **缶** **カン** **環** 大作戦！

- ①菓子「缶」などの金属製容器を活用する。
 - 保管時 蓋を閉めて金属製容器の中で保管する。
 - 充電時 蓋をせずに※金属製容器の中で充電する。
- ②周囲に燃えやすい物を置かない「環」境を整える。
- ③外出中や就寝中の充電は避け、目の届くところで充電する。
- ④夏の車内や暖房器具の近くなど、高温になる場所に置きっぱなしにしない。

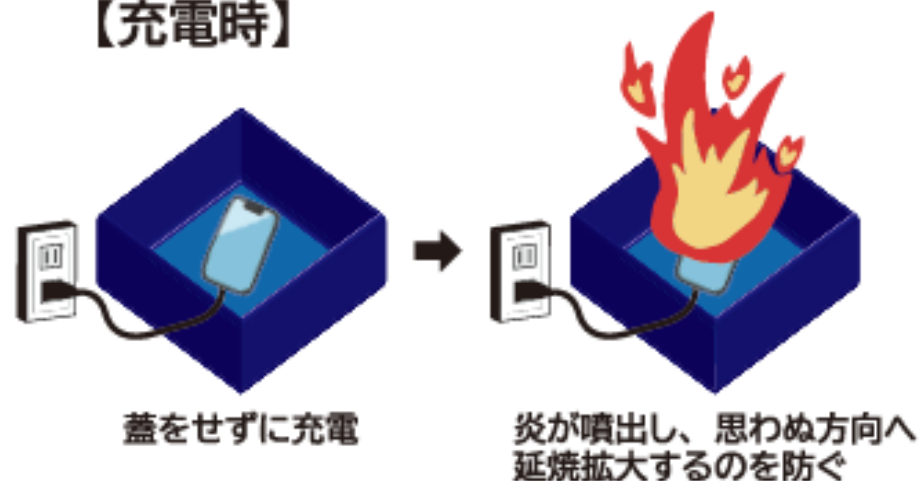
※ 充電コード等により缶と蓋との間に隙間がある場合、その隙間から炎が噴出し、思わぬ方向へ延焼拡大するおそれがあります。



【保管時】



【充電時】



①正しく廃棄する。

正しく廃棄しないと、ごみの収集・運搬中や処理施設で火災が発生するおそれがあります。

②リチウムイオン電池を含む充電式電池や電池が取り外せない小型家電※¹は区役所・支所のエコまちステーションなどの資源物回収拠点のほか、京都市市民防災センターや消防署※²でも回収しています。

※¹「高さ×幅×奥行＝30cm×40cm×40cm」以内のサイズに限ります。

※² 北、上京、左京、山科、下京、右京、西京、伏見消防署に限ります。



①火花や煙が激しく噴出している場合は、身の安全を確保する。

②火花や煙の勢いが収まったら、大量の水や消火器で消火する。

③消火後、可能であれば水没させる。

熱くて火傷の危険があります！十分注意してください。



京都市消防局、環境政策局、文化市民局の3局が連携し、
リチウムイオン電池火災を防ぐポイントについてお伝えするホームページも
右記の二次元コードから是非御確認ください。

京都市消防局
ホームページ



充電式電池・リチウム電池

近年火災原因として増加が著しいのが、モバイルバッテリーのように**繰り返し使える充電式電池**です。
以下のような火災事例があります。

▶ 電池を捨てる際に、適切に処理せず発火

リチウム電池では、電池を処分する際に絶縁テープなどで絶縁処理をしないと、電池同士が接触により放電して発火する場合があります。



▶ 暖房機器で暖められ、内部に熱がこもり発火

充電式電池を暖房機器近くに置くと暖めると、内部に熱がこもり電池を損傷させ発火する場合があります。



暖房器具などで暖められ出火



▶ 水に落としたことによる発火

洗面所などで水に水没させた場合、内側に水が浸み込み、異常が生じ、通電時などに内部でショートして発火する場合があります。



▶ 落下による発火

落下などにより、大きな衝撃が加わると、変形や電池内部の損傷により、発火することがあります。



▶ 低温下で充電したために発火

低温下での電池の充電は、電池に損傷を与える恐れがあり、発火に至る可能性があります。



リチウムイオン電池の回収場所



資源物回収拠点

区役所・支所(14か所)、まち美化事務所(ごみ収集運搬拠点6か所)、上京リサイクルステーションなど



移動式拠点回収

学校や公園など、市民の身近な場所に
本市職員が出向いて資源物を回収



リチウムイオン電池の回収場所



西京消防署 1 階エントランス内



山科消防署 1 階エントランス内

※北消防署、上京消防署、左京消防署、下京消防署、右京消防署、伏見消防署、
京都市市民防災センターにも設置

家電製品

電子レンジ等の家電製品は、**不適切な使用によって火災に至る**場合があります。

▶ 食品の加熱のしすぎにより発火

食品を電子レンジで加熱しすぎると、水分が蒸発し炭化して発火します。電子レンジで焼き芋を作るレシピなどが紹介されていますが、レンジ調理は場合によっては火災につながることを覚えておきましょう。



▶ アルミ包装がスパークにより発火

アルミなどの金属が使われた容器や、袋などを電子レンジで加熱すると、スパークを起こし、発火する場合があります。ホーロー製の容器なども電子レンジで使えるか確認が必要です。



▶ 油汚れにより発火

電子レンジ内の掃除を怠り、油汚れなどを放置していると、炭化し急に発火する場合があります。



▶ 清掃時の不注意により発火(エアコン)

エアコンの清掃中に誤って洗浄液を電気配線にかけてしまい、拭き取ることなく稼働させると、配線がショートし発火する場合があります。





火災原因第3位

放火火災

放火火災 は…？

最近までずっと1位

昭和51年から平成27年まで、

40年連続で火災発生原因の第1位

さらに…

令和元年、令和2年、令和3年も

火災発生原因の第1位

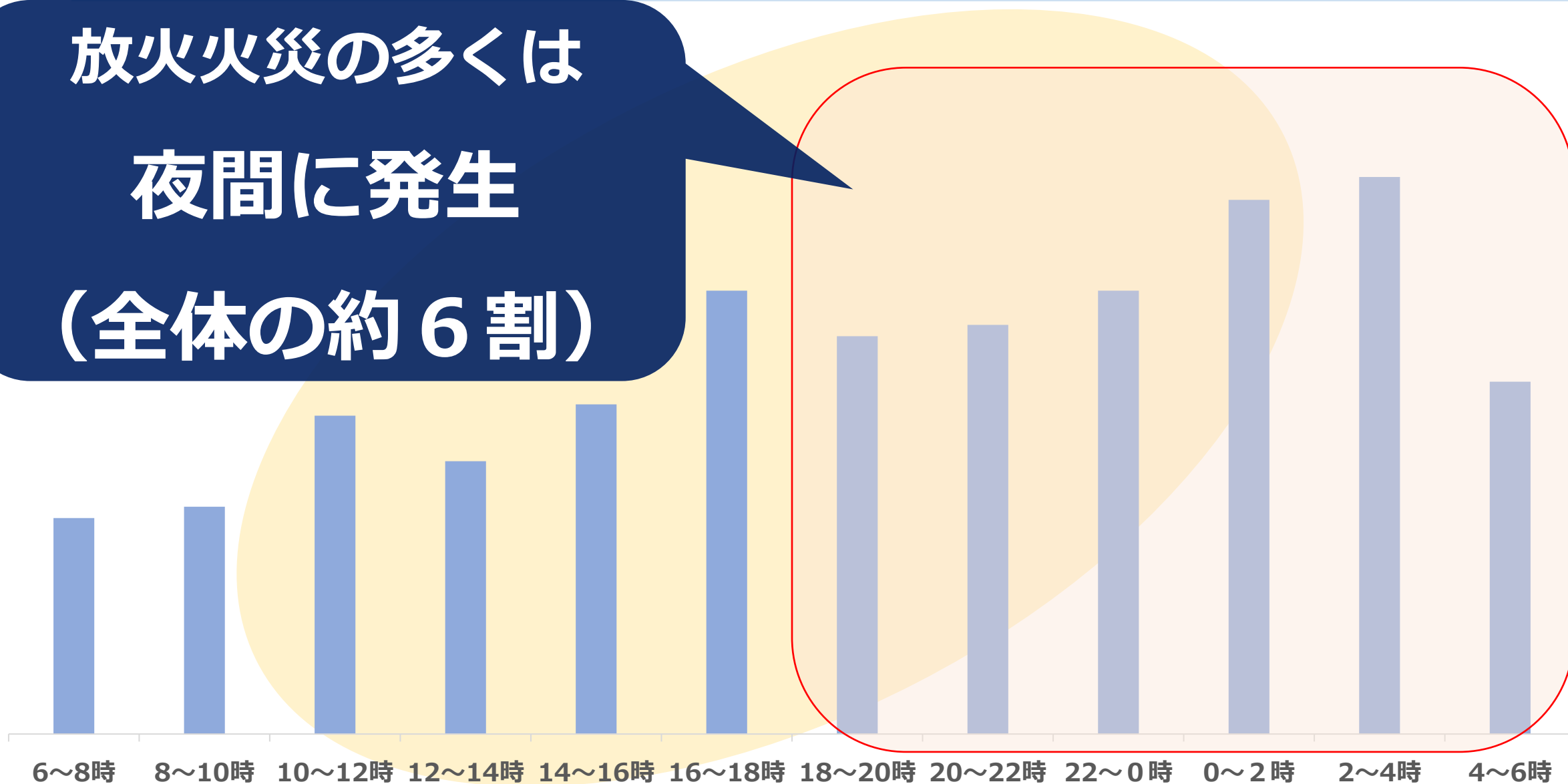


放火火災の推移

(時間帯別)

(過去10年間)

放火火災の多くは
夜間に発生
(全体の約 6 割)





放火火災の推移 (時間帯別)

夜間に放火防止を呼び掛けると…

放火火災は減少する



■放火による火災の予防 (京都市火災予防条例第54条の13)

関係者以外が容易
に立ち入れる部分
に可燃物を存置
しない。

侵入を防止する
ための
措置を講じましょう。

夜間に照明を点灯
するなどして
有効な明るさを
保ちましょう。

放火による火災を
抑制し、早期発見
するための機器を
設置しましょう。

放火防止に係る
地域における活動
に積極的に
参加しましょう。

その他、放火火災の防
止に必要な措置を
講じましょう。
(防災品の使用など)



火災原因第 4 位

こんろ 火災

こんろ火災 は …

考え違いにより使用を誤る

⇒(例)電気ケトル等をこんろに置いて点火

可燃物接触

⇒(例)布巾がストーブに接触し出火

着衣・着火

⇒(例) 調理中、着ている服に接触して出火
「焼死者が発生するおそれ大きい」



コンロ火災の代表格

天ぷらなべ 火災

天ぷらなべ火災の予防 には ...

過熱防止装置 が効果的

効果的な消火方法 は ...



立ち消え安全装置

調理油過熱防止装置

意外と効果的なのは...

蓋をする

(窒息消火)



消火器



エアゾール式簡易消火具



防火対策・・・

台所で注意すべきポイントは・・・



コンロ上の布巾



コンロ上の調味料





こんろ 火災

予防策 は …

- ①使用中はその場を離れない。
- ②グリル庫内は清掃する。
- ③排気口付近には、可燃物を置かない。

- ①こんろ周囲に調味料を置かない。
- ②ゆったりした衣類は着ない
- ③防災製品を使用する。

- ①調理器具がガスこんろ用であるか確認する。
- ②高齢者や子供が使用する際は、周囲の者が目を配る。
- ③取扱説明書をよく読む。



火災原因第五位

天ぷらなべ火災

天ぷらなべ火災のキーワードは…

「その場を離れない」

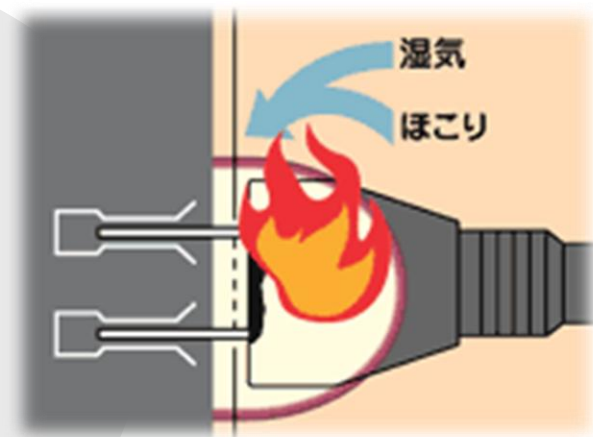
と

「絶対に水をかけない」

■ コード（電気） 火災

トラッキングとは …

コンセント差込口に溜まった湿気を帯びた埃
が発火する現象



予防策 は …



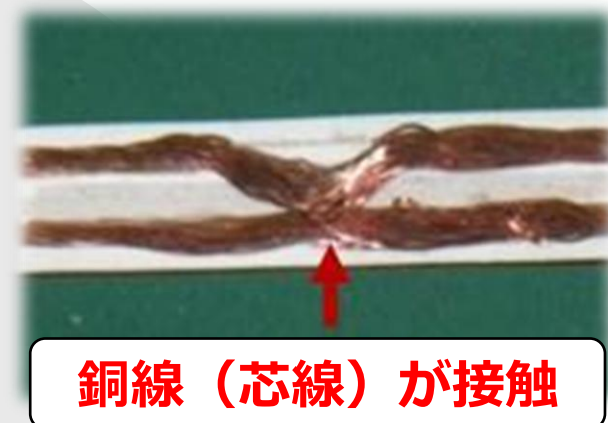
トラッキング防止加工された
電気コードの仕様

コンセントを取り外して、
ほこりを拭く（清掃） が
効果的

■ コード（電気） 火災

短絡 とは ...

電気コードの被膜が破れ，中の芯線が接触
して発火する現象



予防策 は ...

- ・コードを **折り曲げない**
- ・コードを **扉に挟まない**
- ・コードの上に， **重い物を置かない**

プラグ・コード類

多くの電化製品に共通する、**プラグ・コード類でも多くの火災が発生**しています。

▶ 折れ曲がりによる発火

コードを強く折り曲げ使用していると、内部の配線が部分的に断線し、その部分が発熱し発火する場合があります。



▶ 踏みつけにより発火

コードを踏みつけている場合にも、折り曲げと同じように、踏まれている部分が発熱し、発火する場合があります。



▶ 差し込み不足により発火

プラグが完全に差し込まれていない状態で使用していると、電気抵抗が増してしまい、プラグが加熱されます。この状態が続くと急に発火する場合があります。



▶ たこ足配線により発火

延長コード・タップにたこ足配線をする、タップの定格電流を上回る電流が流れ込み発熱し、この状態が続くことで発火する場合があります。



▶ トラッキングによる発火

プラグを長期間差し込んだままにしておくと、ほこりや湿気により、火花放電を繰り返し、やがて火災に至る場合があります。(トラッキング火災)



▶ 束ねていたことにより発火

コードを束ねたり、巻き付けた状態で使用していると、束ねている部分に熱がこもり、発火する場合があります。





暖房器具火災にも注意

暖房器具火災の原因 は …

「電気ストーブ」が多い

令和 7 年の暖房器具火災 8 件



暖房器具 火災

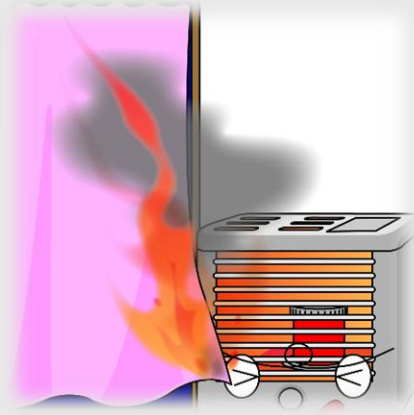
暖房器具火災の主な原因 とは …

可燃物の接触（電気ストーブ，石油ストーブを問わず）

主な原因 は …



布団が接触



カーテンが接触



洗濯物が接触

安心感がある

電気ストーブ

で多く発生



高齢者の焼死者

“住宅火災”において“高齢者”
は「弱者」



高齢者の焼死者

住宅火災による高齢者の焼死者 を防止するためには…？

“ 住宅用火災警報器 ” の設置

が重要



防火対策・・・

高齢者に限らず・・・

ただし・・・

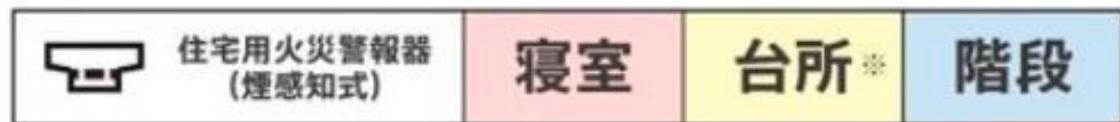
火災が発生した場合に人的被害が発生する危険性は、
高齢者世帯が圧倒的に高い

が存在している



住宅用火災警報器の設置場所

【京都市火災予防条例】住宅用火災警報器の設置が必要な場所



※ 熱感知式でも可

設置例



平屋



寝室：1階のみ



寝室：2階のみ



寝室：1階・2階





住宅用火災警報器の奏功事例

災害区分	被害概要
無損事故	・ 寝たばこの火種が座布団に落下して出火 ・ 座布団の一部を焼損 ・ 住警器の鳴動音で目を覚まし、消火に成功 (住警器の作動がなければ、火災となった可能性)
発報事故	・ 緊通連動住警器が作動し、消防隊が出動 ・ 調理中に鍋の火を失念し、鍋が過熱されて発煙 ・ 緊通連動住警器からの通報により、早期発見 (住警器の作動がなければ、火災となった可能性)
火災	・ 室内に充満した火災の煙を住警器が感知 ・ 住警器の鳴動音に気付いた居住者が初期消火 (住警器の作動がなければ、焼死の可能性あり)

住宅用火災警報器の耐用年数

住宅用火災警報器 は…？

10年が経過すると…

- ・ センサーの劣化による感知力の低下
- ・ 電池切れによる作動不良

が発生

での交換が推奨されている

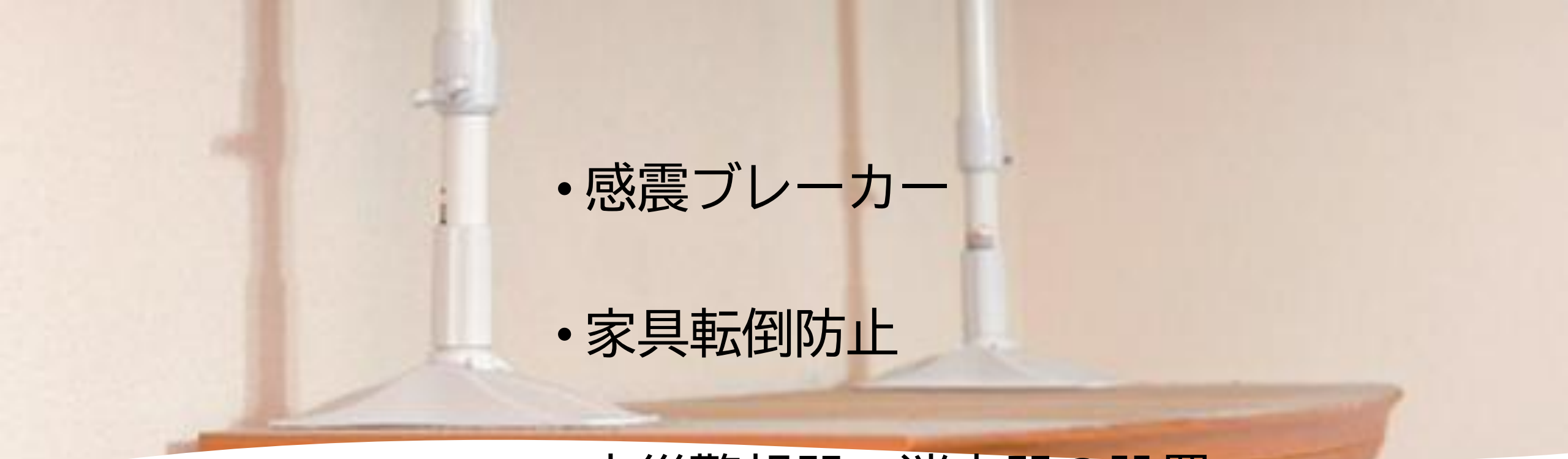


防火対策の切り札・・・

住宅用火災警報器

設置・維持管理 により

助かる命があります！！！！



- 感震ブレーカー

- 家具転倒防止

- 火災警報器、消火器の設置

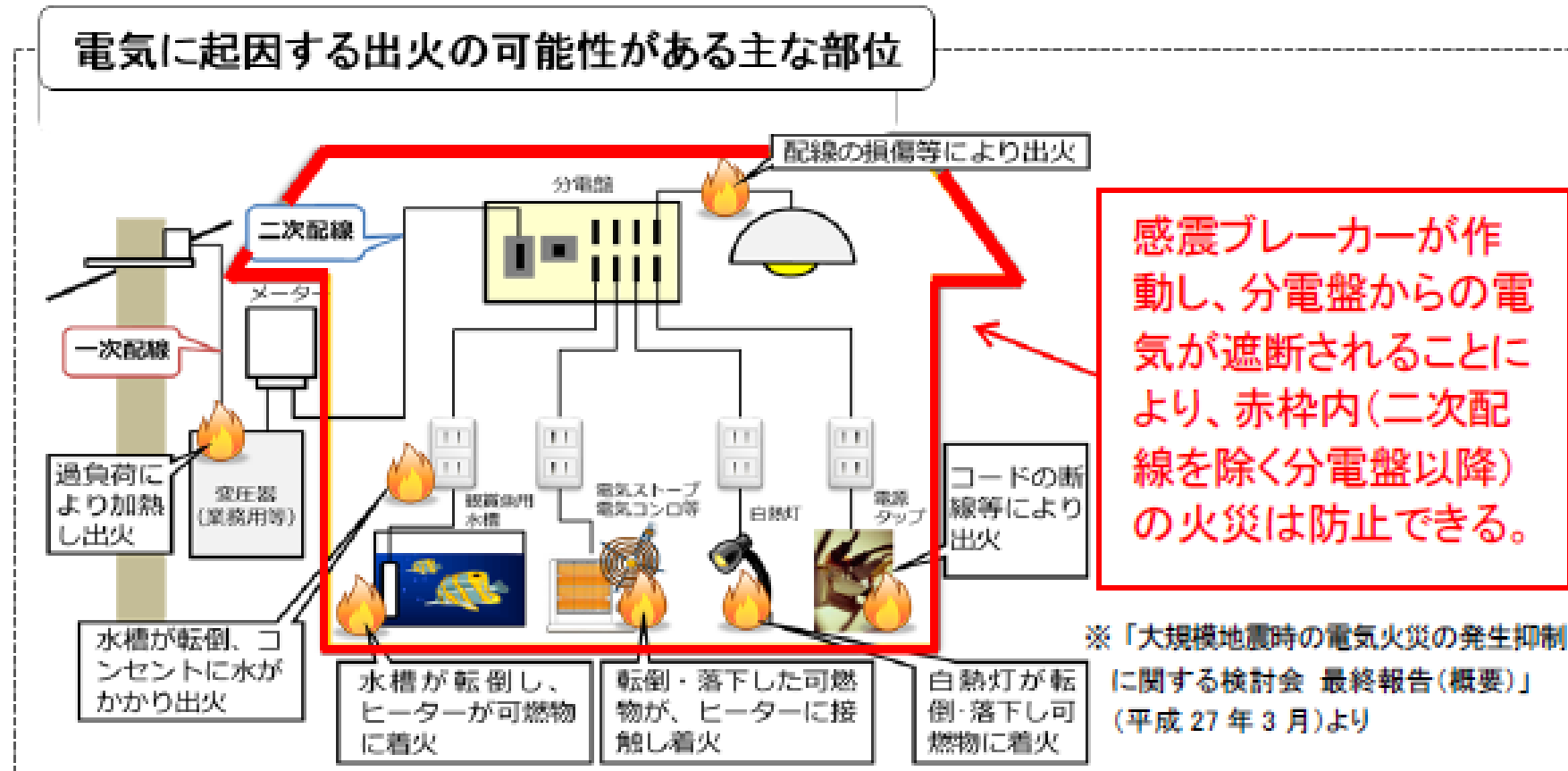
- 非常用持ち出し袋

- 地域の防災訓練に参加

地震対策

感震ブレーカー

感震ブレーカーは一定の震度において、自動的に電源を遮断できる装置であり、地震時の電気火災の抑制に効果的である。



感震ブレーカーの種類

分電盤タイプ



簡易タイプ



コンセントタイプ



感震ブレーカー

感震ブレーカータイプ	特徴
分電盤タイプ	○新築時に設置するか、分電盤の交換等の際に設置することが可能 ○既存の分電盤の内部や隣に後付けできるものもある ○感震機能、通電遮断の安定性が高い ○避難時間を確保するための機能を持つものもある
簡易タイプ	○既存のブレーカーに対して追加設置が可能だが、形状により取付け困難な場合がある ○比較的低コストで設置でき、多くの家庭での設置が期待できる ○重りを落下させるものは、設置方法により通電遮断の作動精度が低下するおそれがある
コンセントタイプ	○作動時に未設置のコンセントへの通電を確保することができる ○コンセント以外の配線、屋内配線及び未設置のコンセントでは火災発生を防げない



最後に



高齢者のお住まいへの防火・防災
にご協力をお願いします

